

議会ニュース

・議会広報研修会



8月19日札幌市で開催された議会広報研修会に本町から5名の議会広報特別委員と議長が参加しました。

この研修会では、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏が「議会広報紙の表現基本」について講義され、その後のクリニックでは、共和町のほか8町の議会だよりを実際に評価して、具体的に優れている点、検討・修正したい点を解説していただきました。今後の誌面づくりの参考となった研修になりました。

全道議会広報研修会に参加!

第4回臨時会

第4回臨時会が8月5日に開催され、財産の取得1件と承認1件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決・承認しました。

- ・審議した議案①
- ・町長行政報告

第4回臨時会 8月5日開催

審議した議案

その他

- 財産の取得
クリニックさろまの医療機器として、次のおり財産を取得します。
- 取得する財産
クリニックさろま医療機器整備事業【汎用X線（透視）診断装置】
- 取得価格
3996万円
- 納入期限
平成27年11月16日
- 取得の方法 指名競争入札
- 契約の相手方
紋別市落石町3丁目
株式会社トウ遠紋支店
支店長 長屋洋人



- 専決処分の承認
平成27年度一般会計補正予算（第2号）の専決処分について承認しました。
- 1万円が追加され、予算の総額が54億7031万円になりました。
- 【主な歳入】
・網走海区漁業調整委員会委員選挙委託金 1万円
【主な歳出】
・選挙管理委員報酬 1万円

議員のひと言

山々も色づき秋らしい気配が漂う季節となりました。基幹産業である農業・漁業とも成育・収穫作業が順調に進んでいるようであります。

長年の懸案だった医療機関の諸課題も見通しが立ち、クリニックさろま新病院も11月開業の予定となりました。

平成24年に放映された「もてナイ」の「佐呂間の花嫁お見合い大作戦」により6組のカップルが誕生し、次々とお子さんが誕生しております。

さらには、合計特殊出生率も全道平均が1・25であるのに対し、1・74で道内6番目となっております。町民の皆さんも頑張っているのだと思つと気持ちが高揚し、我が事のようにうれしく思っています。

全国では人口減少対策が課題となっておりますが、佐呂間町においても大変厳しく、困難を伴う行程ではありますが、将来展望に立って、子供を産み・育て、若者が定住できる環境を整えなければなりませんと思つています。

そうした中で、町外の方

に会員として登録してもらい、佐呂間の魅力や特産品等の情報提供を行い、交流人口の増加や消費拡大による地域振興を目的とする「佐呂間町サポーターズ倶楽部」が創設されました。今や、全国津々浦々の情報がネットやスマホで瞬時に入手できる時代となりましたが、町民一人一人が町外の知り合いの方々に連絡を取っていただき、登録していただくことも会員増の大きな力になることと思つています。

町民の方々の力添えが、近年課題となっている中で、このことはふるさと納税の増額にもつながっていくものと思つています。

(吉野正剛)



町長行政報告 (要旨)



姉妹都市交流35周年記念式典の様子

□姉妹都市交流35周年記念式典について
7月9日から9日間の日程で佐呂間町訪問団19名が、パーム市を訪問いたしました。

現地の日付で7月12日の午後6時から開催された姉妹都市交流35周年記念式典は、

1980年10月にパーム市と姉妹都市提携の盟約を結んでから、35年間の大きく広がる交流の輪は多くの人々の絆となり、両市町の歴史と伝統に多くの彩りを添え、今回の訪問もまた、一般家庭へのホームステイ滞在中で、生活様式や文化の違いを肌で感じ、互いの交流をより深め、実り多い訪問となりました。

気候風土の類似する佐呂間町とパーム市の姉妹都市交流を友好と親善、そして国際平和の『きずな』として未来へ継承し、大きく発展させていく使命を、今、改めて心に秘めているところであり、訪問団19名全員がたくさんの思い出を胸に、元気に帰国したことを報告させていただきました。

パーム市民をはじめ、ビル・ワーカール・アラスカ州知事やアンカレッジ領事事務所の所長にもご出席いただき、さらに元パーム市長で、佐呂間町の英語指導助手も務めていただいたジョージ・カーティン夫妻もアメリカ本土のアイデアからお見えになるなど、総勢150名を超える盛大な式典でありました。

第4回定例会は12日に開催されます!!

日程の詳細は、町広報12月号の折込みチラシをご覧ください。

